

教育施策の重点目標 6

県民だれもが生きがいをもって地域社会に参画する生涯学習社会づくりを推進します

(1) 県民の学習ニーズに応える社会教育・生涯学習の振興

社会教育施設等生涯学習基盤の整備・運営

[今後の方向と目標]

県民だれもが生涯にわたって学習する機会や場を提供するために、公民館や図書館、博物館等の社会教育施設を整備し、県民のニーズにあった運営を行うことが求められている。

このため、公民館をはじめとする社会教育施設を、様々な地域課題や社会の要請が高い分野等への対応を学ぶ、地域における学習の拠点、人づくり・まちづくりの拠点として機能させる。また、学社融合の観点からも、教育活動その他において子どもたちの活用を促進する。

特に、以下の事項を、取組に関することをはじめとした具体的な目標とする。

県立嬉野台生涯教育センター.....年間総利用者数200,000人

県推進プログラム100：延べ利用者数1,000,000人（平成25年度まで）

県立美術館.....年間総入館者数600,000人

県推進プログラム100：年間入館者数1,026,000人（平成25年度まで）

県立図書館.....年間貸出冊数毎年度1%増

県立歴史博物館.....年間総入館者数220,000人

県推進プログラム100：県立歴史博物館の年間入館者数342,000人（平成25年度まで）

県立人と自然の博物館.....年間総利用者数500,000人

県推進プログラム100：年間入館者数954,000人（平成25年度まで）

県立コウノトリの郷公園.....〔普及講座〕年9回実施

〔団体等(学校・一般)普及啓発のための受入〕年230件

県立考古博物館.....年間総入館者数150,000人

県推進プログラム100：年間入館者数290,000人（平成25年度まで）

県立芸術文化センターを活用した兵庫オリジナルの舞台芸術の創造・発信

.....芸術監督プロデュースオペラをはじめ、幅広いニーズに応える質の高い公演を実施（年間40事業60公演）

兵庫陶芸美術館.....兵庫陶芸美術館入館者数、毎年度10万人とワークショップの開催等による人材育成と地元窯元等との連携による陶芸文化の裾野の拡大
年間総入館者数100,000人

県推進プログラム100：年間入館者数200,000人（平成25年度まで）

[施策の取組]

「ひょうご子どもの読書活動推進計画」を改正し、市町における推進計画の策定を促進することで、子どもの読書活動の推進を図る。

県立図書館を「図書館の図書館」として資料の整備・充実、調査相談業務の質の向上を図るとともに、市町立図書館に対し、積極的な支援・協力をを行い、全県レベルでの資料・情報提供の充実を図る。

美術館・博物館等の社会教育施設の機能強化、活性化を図るとともに、施設運営の効率化、住民の参画等を促進する。

- ・県立美術館：県民の期待に応えうる特別展を開催するとともに、新たなにぎわいを創出するため、学校団体や親子での美術鑑賞を推進する活動、出張展覧会等を実施する。
- ・県立歴史博物館：「交流博物館」を理念とした博物館づくりを推進するため、身近な生活や暮らしから歴史を学習し、ふるさとを再発見できる展示・学習を提供する。
- ・人と自然の博物館：県民が活動・交流するステージとしての博物館、兵庫の自然・環境を未来に継承する学習コアとしての博物館、県政課題解決の知的創造インフラとしての博物館をめざし、様々な学びのレベルに合わせた参加・体験型プログラム等を提供する。
- ・コウノトリの郷公園：平成17年度から開始した試験放鳥の実績と成果を検証・評価し、豊岡盆地全域にコウノトリを分散・定着させるための方法の確立をめざすとともに、野生復帰への理解を深めるための講座や環境教育、普及啓発事業を実施する。
- ・県立考古博物館：「参加体験」、「ネットワーク」をコンセプトに、県民に本物の遺跡や出土品に触れる機会を提供するとともに、兵庫県における考古学分野の中核施設として、市町等の資料館・博物館とのネットワークを構築する。
- ・県立芸術文化センター：芸術監督プロデュースオペラをはじめ、幅広いニーズに応える質の高い公演を実施し、芸術文化センターを活用した兵庫オリジナルの舞台芸術の創造・発信を図る。
- ・県立尼崎青少年創造劇場：質の高い舞台芸術（演劇、落語、狂言、室内楽等）との出会いを作る「鑑賞劇場」の開催や「実技教室」、「文化セミナー」、「演劇学校・舞台技術学校」、「県立ピッコロ劇団」の運営を基調に多様な事業展開を図る。
- ・兵庫陶芸美術館：丹波焼をはじめとする陶芸文化の発信・交流拠点として、魅力ある展覧会を開催するとともに、ワークショップの開催等による人材育成と地元窯元等との連携による陶芸文化の裾野の拡大を図る。
- ・文教府、文化会館：県民の生活創造活動の拠点として、市町と連携しつつ、NPO等の団体や活動グループとのネットワークを広げ機能の充実を図る。

博物館無料開放事業の協力施設の拡大に取り組み、社会教育施設を活用した教育活動の充実を図る。

芸術文化施設で、県内外の施設・団体などとのネットワークを拡充し、兵庫の新しい芸術文化を創造し、全国に情報発信する。

嬉野台生涯教育センター：人材資源の有機的な活用、自然・環境の利活用、社会の要請に対応するプログラム開発など、多様化かつ高度化する学習ニーズや課題に対応するための事業の充実を図る。

生活創造センター：指定管理者制度の活用等を通して、民間団体・NPO等のノウハウやネッ

6 県民だれもが生きがいをもって地域社会に参画する生涯学習社会づくりを推進します

トワークを生かした運営を行う。

人と防災未来センター：震災の経験と教訓を伝える展示をはじめ、風水害等の自然災害に関する防災展示等を通して、防災に関する知識及び技術の普及を図る。

[これまでの主な取組]

ひょうご子どもの読書活動の推進

子どもの読書活動の推進や環境の整備・充実に向けて、子ども読書関連各種研修会や、兵庫県子どもの読書活動推進連絡会の開催等を通して、子どもが本に親しみ、本を楽しむことができる環境づくりを支援する。

博物館無料開放事業

青少年の学校外活動の促進を図るため、小・中学生を対象に県立施設の無料開放を行い、こころ豊かな人づくりに資する。

県民芸術劇場（再掲 p.23）

親子で楽しむひょうご寄席（再掲 p.23）

県立の美術館・博物館等の社会教育施設の運営

- ・県立美術館：美術に関する県民の知識及び教養の向上を図るとともに、芸術の振興を図ることを目的として、常設・特別展示による鑑賞の機会提供、様々な芸術との融合事業、教育普及活動、美術情報提供活動等を実施するほか、貸出ギャラリーを設けた王子分館とあわせて芸術の交流拠点として運営する。
- ・県立図書館：県民の教育と文化の発展を図るため、図書、記録、その他必要な資料を収集・整理、保存し、公立図書館への貸出業務、県民への直接貸出、各種講座等を実施する。
- ・県立歴史博物館：郷土の歴史に関する県民の理解を深め、教育、学術及び文化の発展に寄与することを目的として、常設展示をはじめ、特別・企画展示、講座・講演会等を開催する。
- ・県立人と自然の博物館：自然の摂理、生命の尊厳及び人と自然との調和した環境の創造に関する県民の理解を深め、教育、学術及び文化の発展に寄与することを目的として、兵庫の自然史などの常設展示をはじめ、企画展示、講座・講習会、調査研究等を実施する。
- ・県立コウノトリの郷公園：特別天然記念物であるコウノトリの保護・増殖を図るとともに、人と自然の調和した環境の創造について県民の理解を深め、教育・学術及び文化の発展に寄与することを目的として、保護・増殖事業、野生化に向けた研究・実験、講座・研究会等を実施する。
- ・県立考古博物館：古代学に関する県民の教養を高めるとともに、遺跡及び考古資料の活用を通じた県民の交流の場を提供することにより、教育、学術及び文化の発展に寄与するため、常設展示をはじめ、展示活動、講座・講習会及び発掘調査等を実施する。
- ・兵庫陶芸美術館：丹波焼をはじめとする陶芸文化の発信・交流拠点として、特別展や所蔵品を展示するテーマ展を開催するほか、人材養成事業等の普及事業を実施する。
- ・県立芸術文化センター：自ら創造し、県民とともに創造する「パブリックシアター」をめざし、付属楽管弦団演奏会や芸術監督プロデュース公演をはじめ、芸術性豊かな質の高い公演から良質で親しみやすい公演まで多彩で幅広い事業を展開する。
- ・県立尼崎青少年創造劇場：優れた舞台芸術を紹介する鑑賞劇場、演技指導を行う実技教室、著名な舞台人や評論家等による文化セミナー、ピッコロ演劇学校・舞台技術学校の開校、ピッコロ劇団の運営等、青少年の創造活動を支え、地域文化を高めるための多彩な事業を展開する。
- ・文教府・文化会館：各地域における生涯学習、地域づくり活動の支援拠点であるとともに、県民の様々な創造活動を支援するため、但馬文教府（豊岡市）及び西播磨文化会館（たつの市）、淡路文化会館（淡路市）を運営する。

嬉野台生涯教育センターの運営

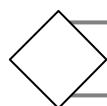
県民の自主的学習活動を促進し、あわせて県民の教養文化の高揚と健康の増進を図ることを目的として、生涯学習指導者の育成、生涯学習の機会や場の提供、生涯学習情報の提供・学習相談等により、県民の学習活動を支援する。

生活創造センター等の運営

生活創造活動の実践・交流拠点として、県民の参画と協働のもと、各地域の実情や特色を踏まえた特徴ある事業等を展開し、人々のくらしを高め、地域社会をより良くしようとする多彩な活動を支援するため、丹波の森公苑（丹波市）及び神戸生活創造センター（神戸市）、東播磨生活創造センター（加古川市）等を運営する。

人と防災未来センターの運営

大震災の被害の実態や経験及び復興過程を迫力ある映像や被災者などから提供された貴重な資料などで伝える展示を行う。平成22年1月には、風水害等の自然災害に関する防災展示を充実させたほか、国際的な防災・環境関係機関の拠点として整備した。



社会教育・生涯学習を支える人材の育成と情報提供の推進

[今後の方向と目標]

地域課題を的確に捉え、県民の自主的な学習を支援するために、社会教育指導者・生涯学習支援者など専門家の資質向上を図るとともに、地域づくりの核となる人材の養成に取り組む。

また、県内の多彩な学習資源の活用を促進するための情報提供や、公民館等の社会教育施設の運営状況に関する評価を実施し、利用者の視点に立った運営の改善を進める。

特に、以下の事項を、取組に関することをはじめとした具体的な目標とする。

生涯学習情報プラザ……年間総利用者数40,000人（平成22年度）

県推進プログラム100：生涯学習情報プラザ延べ利用者数20万人（平成25年度まで）

[施策の取組]

「個人の要望」と「社会の要請」を踏まえた学習機会を提供できるよう、社会教育指導者や社会教育関係職員等の専門性を高める研修の充実を図る。

「生涯学習情報プラザ」やインターネットを活用した学習相談、学習情報の提供、学習機関のネットワークづくりに取り組み、県民の学習活動を総合的に支援する。

[これまでの主な取組]

社会教育指導者の派遣及び研修

市町教育委員会に社会教育主事²⁹を派遣し、社会教育の振興を図るとともに、社会教育の専門職員としての職務を遂行するために必要な知識・技能の習得を図り、もって指導者としての資質の向上を図る。

社会教育関係職員等研修

社会教育にかかわる職員を対象に、職務を遂行するために必要な専門的知識・技能について研修を行い、指導者としての資質向上を図る。

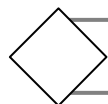
生涯学習情報プラザの運営

県内の学習機関の連携のもと、県民への学習情報の提供や学習相談、学習グループへの支援や生涯学習支援者の養成、学習機関相互の連携・調整などの全県的な学習支援機能を担う「生涯学習情報プラザ」を運営する。

生涯学習情報ネットワークシステム「ひょうごインターキャンパス」

インターネットを活用し、県内の学習機関の講座情報等を一元的に提供することにより、県民の学習活動を支援する。

²⁹ 社会教育主事……社会教育法に基づき都道府県及び市町村教育委員会に置かれる社会教育に関する専門職員。社会教育行政の中核として地域の社会教育行政の企画・実施及び専門的技術的な助言と指導に当たり、人々の自由で自発的な学習活動を側面から援助する。



社会人の特性を踏まえた学習機会の提供

[今後の方向と目標]

高齢社会を迎える中、団塊の世代をはじめあらゆる世代の県民が生涯を通じて学び、自己を磨き、地域社会の一員として活躍することによって、豊かな人生を送ることができるよう、地域づくり活動等の学習機会を提供するとともに、県民が様々な学習機会にアクセスできるようにすることが求められている。

このため、青少年、成人、高齢者といったそれぞれのライフステージにおける学習機会や男女共同参画、環境問題、人権教育等の現代的課題に係る学習機会を充実するとともに、県民一人一人が適切な学習機会を選択することができるよう、学習情報の提供や学習相談の充実を図る。

[施策の取組]

身体障害者社会学級生による自治的な活動や学級運営への積極的な参画を促進し、魅力ある学習プログラムを展開できるよう、情報提供を積極的に行い、学習者の拡大を図る。

高度化・多様化する高齢者の学習ニーズに対応するため、高齢者大学において実践活動を重視したカリキュラムを導入するなど、高齢者の学習機会の充実を図る。

(財)兵庫県高齢者生きがい創造協会を高齢者だけでなく、あらゆる世代の学習ニーズに対応できる団体に改組し、生涯学習情報プラザ及び嬉野台生涯教育センターの運営を同財団に移管することにより、生涯学習の支援機能の充実を図る。

「こころ豊かな人づくり500人委員会」の研修カリキュラムを充実し、地域における青少年健全育成活動等の担い手を育成する。

[これまでの主な取組]

身体障害者社会学級及び身体障害者学習交流事業

視覚・聴覚・言語障害者及び進行性筋ジストロフィー症者が、社会人としての幅広い教養や実用的な知識・技能等を習得するとともに、広く県民との交流の場を通して相互理解を深め、ともに生きる喜びを創造する場を提供する。

高齢者大学の運営（いなみ野学園、阪神シニアカレッジ、地域高齢者大学）

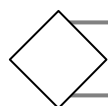
県内7か所で高齢者大学を開設し、高齢者に総合的・体系的な学習機会を提供することにより、高齢者の社会参加と生きがいづくりを推進する。

生涯学習情報プラザ（再掲 p.97）

生涯学習情報ネットワークシステム「ひょうごインターキャンパス」（再掲 p.97）

こころ豊かな人づくり500人委員会

「こころ豊かな人づくり美しい兵庫」の実現に向け、青少年健全育成活動や地域づくり活動に主体的・能動的に参画するための学習と実践の場を推進する。



学習成果を社会に生かす仕組みの構築

[今後の方向と目標]

生涯学習・社会教育の振興においては、学習機会の充実に加え、学習の成果を適切に生かすことができる社会の実現が求められている。

このため、学習者と活動の場を結びつける仕組みを構築し、学習者が学習の成果を地域での活動に生かす機会を充実するとともに、学びと実践の一体化の視点に立った県民の自主的な活動を支援する。

また、団塊の世代等これから高齢期を迎える世代を含め、高齢者が長年培ってきた能力や経験を生かし、地域社会の一員として主体的に活躍できるよう、高齢者の学習成果の活用に向けた仕組みづくりを積極的に進める。

[施策の取組]

「ふるさとひょうご創生塾」等、学習者が学習成果を地域での実践の場で生かすことを目的とした学習機会を充実する。

学習者と実践の場を結びつける仕組みとして「生涯学習リーダーバンク」の充実を図る。

高齢者大学において地域活動グループの情報発信やマッチング機能を強化することにより、高齢者の学習成果の幅広い活用をめざす。

「コミュニティ応援隊」の派遣により、「県民交流広場」立ち上げ時における地域ぐるみの組織づくりや充実したプランづくり、広場立ち上げ後の自立に向けた取組支援等を推進する。

[これまでの主な取組]

ふるさとひょうご創生塾

魅力あるリーダーシップを持った、ふるさとづくりの新しい地域リーダー育成のため、基礎的な力から地域での実践の場で応用できる力へのスキルアップを図る場として「ふるさとひょうご創生塾」を開設する。

生涯学習リーダーバンク

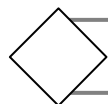
自らの学習によって得た知識・技能を生かして、学習グループ等の活動を支援することを希望する者を公募し、登録する「生涯学習リーダーバンク」を運営する。

県民交流広場事業

県民一人一人が、身近な地域を舞台に、多彩な分野で、実践活動・交流、生涯学習、情報収集・発信等に取り組むことができるよう、活動の場の整備と活動の立ち上げに要する経費の助成を行うとともに、地域コミュニティの担い手の確保や広場のネットワーク化を応援し、参画と協働によるコミュニティづくりを拡げる。

コミュニティ応援隊

地域社会において「実践と一体となった学び」に重点を置いた生涯学習活動への支援を行うため、地域コミュニティの再生や地域課題解決に取り組む県民の自主的な学習活動への講師派遣等の支援を行う。



地域文化に根ざした個性ある地域づくりの推進

[今後の方向と目標]

本県は、多様な自然・風土のもと、それぞれの地域独自の多彩な歴史と文化を育んできた。そうした豊かな歴史文化遺産を保存し、後世に伝えるとともに、社会関係資本としてそれらを活用することによって、伝統の息づく新たな地域文化を創造することが期待されている。

このため、人が集い交流する場がにぎわいをもたらす仕組み作りを推進し、地域相互のネットワークの構築に資するため、歴史文化遺産を活かしたまちづくりへの支援を行い、地域文化に根ざした地域の活性化に取り組む。

特に、以下の事項を、取組に関することをはじめとした具体的な目標とする。

ヘリテージマネージャー³⁰、考古学者³¹等のボランティアの養成(～平成22年度)

[施策の取組]

県内の良質な歴史文化遺産の保存・活用を推進するため、歴史的な景観と調和したまちづくりをめざし、歴史文化遺産の保護、歴史文化遺産を活かしたまちづくりを推進する。

人が集い交流する参加型博物館をめざし、考古博物館の活動を支援するボランティアを養成する。

地域の身近な歴史文化遺産を活かした魅力あふれる地域づくり、地域を愛する人づくりの推進を図るため、歴史文化遺産を発見し、コミュニティの財産として利活用するヘリテージマネージャー(歴史文化遺産活用推進員)を養成する。

[これまでの主な取組]

歴史文化遺産活用事業

歴史文化遺産を活かしたまちづくりを推進するヘリテージマネージャーを養成する。

指定文化財の保存整理

県の区域内に存する文化財のうち、重要なものを兵庫県指定文化財に指定し、文化財保存整備補助事業を展開する。

埋蔵文化財の保存調査

ほ場整備・大規模開発事業の予定地内を中心に、遺跡の保護対策のため、埋蔵文化財の分布調査を実施する。

考古学者養成事業

考古学を中心とした座学や発掘調査等を行い、考古博物館の活動を支援するボランティアを養成する。

鉄器工房「垣内遺跡」の保存と活用(H21～)

弥生時代後期最大の鉄器生産集落である垣内遺跡を地域の新たなシンボルとするため、淡路市・地域住民と連携して、工房等建物の建築・体験学習会・講演会などを実施する。

³⁰ ヘリテージマネージャー……ヘリテージは「遺産」の意。歴史文化遺産活用推進員。埋もれた地域資産を発見・発信し、歴史文化遺産を核にした地域文化の再生を推進する人材。兵庫県では全国に先駆けて、平成13年度から養成している。

³¹ 考古学者……県立考古博物館の活動を支援するボランティア。